

第4次鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画（案）のパブリックコメントに対する市の考え方

実施期間：令和3年1月18日～2月16日

No.	意見（原文のまま）	市の考え方	計画案修正の有無
1	<p>■策定にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進する意義と計画策定の趣旨は明文化されていて高く評価する。 ・「生涯学習」とはそもそも何か。身近な人で「障がい者のための教育」と思っていたこともあるので、出来たらマニュアル（用語説明も有り、ex、リカレント、エンパワーメント、協働等）も職員、教職員向けに作成してほしい。 	<p>生涯学習とは、自分の人生を豊かにするために人々が生涯にわたって行うあらゆる学習の総称で、その内容は、学校教育、家庭教育、社会教育をはじめ、スポーツ、芸術、文化、趣味、ボランティアなど幅広い分野に及びます。</p> <p>ご意見のありましたマニュアルについては作成の予定はありませんが、毎年、職員及び教職員向けに生涯学習研修会を実施しておりますので、引き続き市民の学習ニーズや学習相談に応えられる幅広い視野を持った職員の育成を図ってまいります。</p>	無
2	<p>■基本理念</p> <p>「自他共栄による人（づくり）・まちづくり」をうちだしたこと、また「自他共栄」をイラスト付きで平易なことばで説明を加えていて大変わかりやすいと思う。あくまでも平易でも「公」としての品格は忘れないでいただきたい。</p>	<p>本計画の基本理念は、現行計画の「自他共栄による人づくり」に「まちづくり」を加えました。皆で助け合い、学びあうことで、市民の皆さまの心豊かで充実した生活と、持続的に発展していくまちを目指してまいります。</p>	無
3	<p>■全体のつくり方</p> <p>もっと写真・絵・アイコン・公認キャラクターかまたんも上手に活用して親しみやすく、読んだだけで生涯教育に興味をもてる創意工夫が大切だ。</p>	<p>本計画は、現行計画ではなかった写真を多く取り入れ、また事業もなるべく数多く掲載するとともに、事業名称だけでなく、事業に興味をもっていただけるよう内容、ねらいを入れるなど、シンプルでわかりやすいもの、やる気を起こさせるもの、活力を感じられるものを意識して作成しました。</p>	無

4	<p>■推進目標</p> <p>「さわやかにふれあい 学びあい 高めあうまち」の都市像は、上位計画の「鎌ヶ谷市総合基本計画」(案)の「みんなで作るふるさと鎌ヶ谷」と整合性、実効性が連携できる心掛けとともに、仕組みが必要に思う。管理課題事項を見直す場、数値目標を振り返るタイミング等。</p>	<p>本計画は、総合基本計画の目指す都市像を実現するための個別計画であるため、毎年行っている事務事業評価、教育委員会の点検評価等で総合基本計画との整合性を確認しながら推進してまいります。</p>	無
5	<p>■基本方針</p> <p>(1) 学ぶ (2) 活かす (3) つなぐ この (1) (2) (3) が循環するシステムを配慮し、さわやかに老若男女すべての鎌ヶ谷市民/みんながふれあい、学びの場で交流しつつ個人としてまちとして高めあい成長していくイメージは、目標と方針の一貫性と体现の実際が大切に思う。</p>	<p>ご意見のとおり、学ぶ、つなぐ、活かすの循環は、生涯学習を推進していくうえで重要な視点であると認識しております。市民の生涯学習に携わる各部署の職員がこの3つの方針を意識し、事業に取り組むことが大切であると考えます。</p>	無
6	<p>■経験</p> <p>27ページ 手話奉仕員養成講座を2019年受講(身体障がい者福祉センター)。</p> <p>(1) 学ぶことだけで残念ながら終了</p> <p>(2) 活かす/モチベーションが無かったのは高い技術力を活かす切実な必然性に欠けていたせい。仮にこの(1) 学ぶに(3) つなぐ【学習オーガナイザー】(国立女性教育会館に養成講座有り)の事業がはいたらどうかなと思った。</p> <p>学び、活かす循環に、受講生の交流、口コミでの学びの連鎖も大事なPRになる。</p> <p>・かまがや地域づくりコーディネーター育成、活動支援事業の成果はおおいに評価、認めたい。惜しむらくは、受講生の実践への温度差、少しサロンの雰囲気になりがちだった。残念だ。</p>	<p>本計画に掲載している主な事業につきましては、市の主催事業や各種団体との共催事業等の中で、関連が強い事業を掲載しているもので、関連する全ての事業を掲載しているわけではございません。</p> <p>ご意見のとおり、学ぶ、つなぐ、活かすの循環には、魅力ある事業内容であることはもとより、参加者同士の交流によるつながりづくり、学習情報のPRも重要な要素であると認識しております。学びを通してつながった市民の方々が、学びを活かし、学びやつながりを地域でさらに広げていけるよう取り組んでまいります。</p> <p>個別の事業に関するご意見は、事業担当課に報告するとともに、今後の事業運営の参考にさせていただきます。</p>	無

7	<p>■生涯教育のテーマとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別の観点から申し上げると、日本が2016年採択した国連のSustainable Development Goals/持続可能な開発目標のゴール17と169ある具体的目標は、学習機会の場を是非提供していただきたい。 ・「協働のためのアクションプラン22」(案)の策定も同じくアンケートをとって市民の声を聴き、きめ細かいプロセスで成立。「協働」意図的協働関係性はすべての計画のはじめの一歩に思う。 	<p>学びを通して現代的課題や地域課題を解決していくことも生涯学習の大きな役割です。</p> <p>Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標は、国際社会の共通目標であり、生涯学習においても取り組んでいかななくてはならない学習課題であると認識しております。現在、各部署において、健康、環境、安全、協働をはじめ、様々な課題に応じた事業に取り組んでおります。今後も市民のニーズと社会の要請、地域の課題等に対応した幅広い学習機会の充実を図ってまいります。</p>	無
8	<p>■何故SDGsが必要か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に未来を任う子どもたちに対し、世界が直面している課題(解決できる問題)と私たちとの生活との関連をSDGsの視点から気づき考えていく学びだからだ。 ・考え方として、 goal 4 質の高い教育をみんなに goal 5 ジェンダー平等を実現しよう goal 17 パートナリシップで目標を達成しよう を自分事として学び、活かす、その社会教育は公の責務だと痛感中だ。 ・教育の機会均等を望むので、そのシステムもまた考えることが学ぶ→活かすにあたる。 		
9	<p>■行動と学習のジレンマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ、活かすところに学びあう同士のフリースペースでのざっくばらんな交流も有意義にするのには、そこにもファシリテーターの存在が必須だ。こう考えていくと私自身、パブリックコメントを書くのも学びの場、NWECで男女共同参画社会実現の為の一助になると幸いに感じる。 ・人づくり、まちづくりはPR、見える化も大切にしたい。 	<p>学びの成果を実感できると新たな学びにつながり、学びの輪が広がることで、地域課題の解決への力となります。施策の柱(3)「生涯学習活動の成果の活用」にあるとおり、今後も学習成果を発表、発信できる機会や場を提供していくとともに、市民の活躍の場や交流の機会を創出し、地域活動につなげていく取組みを推進してまいります。</p>	無
10	<p>■行政として</p> <p>広報かまがや2月1日号 No.1296により具体的事業を見ていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまがや市民活動男女きらりフェスタ～オンライン講演会&パネルディスカッション～(テーマ:まちづくり)(市民活動推進課) 3/6は 	<p>いただいたご意見は、各事業担当課に報告するとともに、今後の事業運営の参考にさせていただきます。</p>	無

土曜なので多くの方が参加しやすい日時に設定すること。またオンラインであることも親しさと新規の良さで盛会をここから祈っている。

・第4回きらりかまがやアーティスト発掘プロジェクト(テーマ:クラシカルアンサンブル)(きらりホール) 無料で全席指定でお客様が投票できるのも楽しみな企画だ。

・D-party～きらりダンスパーティーショーケース～(きらりホール、有料)

ダンスワークショップ参加者募集(きらりホール、有料)

これからのきらりホールは、市民の方の発表の場としてもすぐれたプロフェッショナルなステージの鑑賞の場としてもフル稼働するよう商業ベースでも活用できるバランスのとれた料金設定も大切だろう。

・市民創作ミュージカルの入場料大人一人 ¥1,000-は賛否両論有りだった。

・まなびい100対象として、ふたつは特記したい。

①春の自然観察教室～早春の天津川沿いの自然に親しもう～(郷土資料館 有料50円の内容は表記すべきだ)

市内でも多くの野鳥や植物がある自然の中 3/6(土) やはり多く人が休日であることで、家族で親子で参加可能だが、多数の場合抽選とのこと。多くの方が参画できるという内容も考慮したいところだ。

②市民ボランティア体験学習(with コロナ編)～お家でボランティア 編物講習会～(総合福祉保健センター5階 ボランティアセンター)

これは、学んで作った作品が福祉のボランティアセンターにて活かす/活用される良い事例だと思うし、一度アクリルたわしを作って覚えれば、自分のためにも作れるし、身近な人に教えてさしあげることも出来ると思う。こちらは申込先着順定員10人とこれまたせまき門だが…

11	<p>■創造性</p> <p>教育の基本理念「内在尊重」と21世紀の命題「人権」を鑑みたい。ひとづくり/個人とまちづくり（市/地域）を豊かにする社会教育は今後推進に向けて長期計画でもあることからして、見直しをするタイミングを意図して、アンケート結果を有効活用していただきたい。市民のニーズに応えるセンスも忘れず、地方公共団体、基礎自治体の自治権も尊重し他市に学ぶことも大切にしたい。</p> <p>（例）男女共同参画推進センター見学を、八千代市と習志野市から学んだ。</p>	<p>本計画を推進していくにあたり、社会の要請や市民の多種多様なニーズに応えていくため、様々な主体や関係機関と連携・協働していくことが必要であると認識しております。市民一人ひとりの心豊かで充実した生活と皆で支え合い、助け合えるまちづくりを目指し、今後も引き続き、様々な事業を通して市民の皆様の生涯学習活動を推進してまいります。</p>	無
----	---	---	---